

オリバイン BPS 5375

1. 特徴

2液硬化型アクリル系粘着剤です。

2. 性状

	主剤 < BPS 5375 >	硬化剤 < BHS 8515 >
外観	淡黄色半透明	微黄色透明
不揮発分	45.0 ± 1.0 %	37.5 ± 1.0 %
粘度	8000 ± 2000 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、トルエン	酢酸エチル

(粘度: B型 #3/12min⁻¹ at 25°C)

3. 使用方法(例)

配合 : 主剤 1Kg / 硬化剤 17.33g

塗布量 : 市販ポリウレタンフォーム 約 65g/m² (dry)
: 市販ポリエチレンフォーム 約 55g/m² (dry)

塗工条件 : 転写塗工

乾燥 : 100°C-2min 熱風オーブン

熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

ポットライフ : 6時間-25°C 硬化剤配合後はなるべく早く使用してください。

4-1. 性能

<発泡体基材>

項目		基材	ポリウレタン フォーム (エステルタイプ) SC 5t	ポリウレタン フォーム (エーテルタイプ) SKK 10t	ポリエチレン フォーム (30倍発泡) へフ 4t	ポリエチレン フォーム PE ライト 5t L-3
塗布量 (g/m ²)			70	70	55	55
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH 20min	SUS	7.1 FF	7.0	14.3 FF	9.2
		PP	7.0 FF	6.3	14.0 FF	8.1
		PE	3.0	3.5	6.6	4.9
初期タック [N]	23°C-50%RH 10g - 3sec		2.0	3.0	2.7	2.3
保持力 [mm/3,600sec]	40°C-500g	SUS	NC	NC	NC	NC
ボールタック [#]			19	22	10	10

粘着力 [N/25mm]	0°C 20min	SUS	11.4 FF	12.4	15.5 FF	19.4
		PP	3.5 Z	5.0 Z	4.0 Z	4.3 Z
		PE	5.4 Z	7.0	18.6 FF	5.3 Z
初期タック [N]	0°C 10g - 3sec		0.6	0.7	0.5	0.6

昇温保持力 [°C]	38°C ~ 3°C / 5min-310g	SUS	92	130	101	112
70°C曲面保持力	15mm φ PP		5.0	4.5	3.0	3.0
	30mm φ PP		5.0	5.0	4.5	4.5
曲げ貼り	23°C-50%RH → 80°C-4H	PP	◎	○	—	—
		PE	◎	○	—	—

※曲面保持力と曲げ貼りの評価基準は別紙参照のこと

* FF:フォーム体破断 Z:ジッピング NC:ノンクリーブ

4-2. 性能

<フィルム基材>

試験項目				測定値
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH	SUS	initial	9.9
			24hrs	18.3
		PP	initial	2.7 Z
			24hrs	3.8 Z
		PE	initial	5.2
			24hrs	6.6
	5°C	SUS	24hrs	15.4
	60°C		24hrs	22.8 AT
保持力 [mm/70,000sec]	40°C-1Kg	SUS		0.5
	70°C-1Kg			1.0
ボールタック [#]				4

* Z:ジッピング AT:被着体への転着

<試料作成条件>

配合 : BPS 5375 / BHS 8515 = 100 / 1.73
 剥離紙 : ポリラミグラシン紙セパレーター
 基材 : 市販ポリウレタンフォーム 2点
 市販ポリエチレンフォーム 2点
 塗工 : 弊社テストコーターにて転写塗工
 塗布量 : 市販ポリウレタンフォーム 約 70g/m² (dry)
 市販ポリエチレンフォーム 約 55g/m² (dry)
 乾燥 : 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
 熟成 : 塗工後 23°C-50%RH、7days

<試料作成条件>

配合 : BPS 5375 / BHS 8515 = 100 / 1.73
 剥離紙 : ポリラミグラシン紙セパレーター
 基材 : 市販ポリエステルフィルム 50μm
 塗工 : 弊社テストコーターにて転写塗工
 塗布量 : 約 25g/m² (dry)
 乾燥 : 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
 熟成 : 塗工後 23°C-50%RH、7days

5. 使用上の注意事項

- 保存方法 : 屋内にて直射日光を注意して保存
取り扱い : 危険物につき火気厳禁
 : 使用の際は十分攪拌してください
配合 : 水分混入注意

*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

6-1. 発泡体試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後 20 分放置してから測定する。

測定は引っ張り試験機を用い、90 度方向へ 50mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、PP 板、PE 板
20 分後	:	圧着後、測定雰囲気内に 20 分間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、0°C

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C
荷重	:	500g

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。

<初期タック>

幅 25mm × 長さ 50mm に切断した試料を、被着体に粘着面が上になる様貼り合せ、引っ張り試験機の下部チャックに取り付ける。上部チャックには、重量 10g の分銅(サイズ:測定面 1 cm²)を下げ、自重のみで 3 秒間粘着面に接着させてから、200mm/min の速度で試料を引き剥がしその強度を表示する。分銅は測定毎に酢酸エチルでふき取る。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 50mm
測定面積	:	1 cm ²
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、0°C

<昇温保持力>

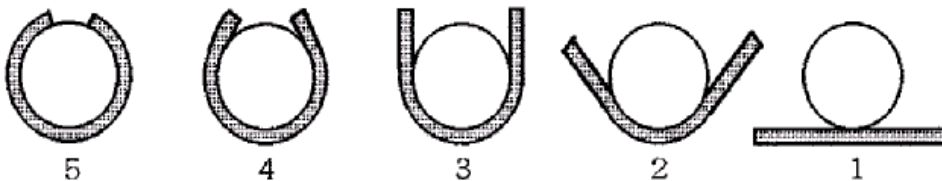
巾 25mm×長さ 100mm に切断した試料をステンレス板に貼着面積 25mm×25mm で貼り合わせ、2kg ロールで 1 往復圧着後 15 分間放置する。その後貼着試料を 38℃雰囲気中で 310g の荷重を掛け、15 分間放置してから、5 分間で 3℃つつ昇温して行き試料が落下するときの温度を表示する。23℃-50%RH で実施する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm×長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	23℃-50%RH
荷重	:	310g

<曲面保持力>

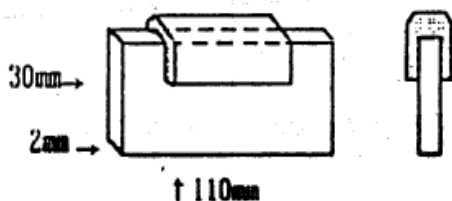
試料を各被着体(丸棒)に貼り合わせた直後、70℃で 24 時間経時し、試料の浮き、剥がれ状態を観察する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 100mm
被着体	:	ポリプロピレン棒 15mmφ、30mmφ



<曲げ貼り>

巾 25mm×長さ 100mm に切断した試料を下図の様に各被着体に貼り合わせ、2kg ロールで 1 往復し、23℃-65%RH に 24 時間放置する。その後 80℃で 4 時間の経時を行い、試料の浮き、剥がれ状態を観察する。



【評価基準】

- ◎ : 完全に貼着され全く浮きのないもの
- : 端部の浮きが 3mm 以内のもの
- △ : 端部の浮きが 3~5mm 以内のもの
- × : 端部の浮きが 5mm 以上のもの
- × : 端部の浮きが片面○、片面△のもの

6-2. 一般試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。
測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、PP 板、PE 板
初期	:	圧着直後に測定する。
永久	:	圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、5°C、60°C

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C、70°C
荷重	:	1Kg

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。